

# 令和2年度事業報告書

特定非営利活動法人にじいろクレヨン

## 1 事業の成果

この法人は、1、「東日本大震災の被災児童支援の継続」2、「子どもを見守るコミュニティ作り」3、「子どもの健全育成に関する講座、ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力」の3つを柱として豊かな地域の新しいカタチ（誰もが自分が自分らしく生きることのできる社会）の実現を目指し、豊かな場の体現、実践をしながら、市民とともに認め合う文化が地域で醸成されることを目的とする。

成果として、今年度はコロナ禍の影響もあり活動が制限される部分もあったが、制限される環境の中でどのような手段を用いれば活動を実施できるか、対面での交流が制限された際の繋がり方を考えるなど、スタッフ間で定期的に話し合う場を設けながら実施することができた。3つの柱については以下の通りである。

### 1、「東日本大震災の被災児童支援の継続」について

従来の対面で集まる場を作る積極的な活動ではなく、下校時の見守りなど短い時間での活動に重点を置いた。子どもたちや地域とつながり続けられるように心がけたことで、子どもたちの安心する顔や笑顔と出会うことができた。また、スタッフへ向けて今の気持ちや学校の様子を伝えるなど、自分の気持ちを吐き出すことのできる場を維持したことで、気持ちを受けとめてもらえる大人がいる安心感を保つことができた。



### 2、「子どもを見守るコミュニティ作り」について

釜、大街道地区を中心ににじいろひろばとにじいろ農園、近隣の復興住宅との連携により、これまで以上に多世代、多属性の人々が集まる豊かな場づくりを実践できた。交流をきっかけに、地域の大人が活動や子ども達を気にかける場面が増えていた。



### 3、「子どもの健全育成に関する講座、ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力」について

日常的に体罰をなくし、親子がより良い関係を作るための子育てプログラムであるポジティブディシプリン講座を実施した。その中でボランティアが託児で参加する機会を設けるなど、市民と共に活動を実践し新たなネットワークを作り出すことができた。また、お絵描き教室事業ではコロナ禍でも子どもたち自身が自分らしく過ごすことのできる場の維持に努めることができた。



## 2 事業に関する事項

令和2年4月1日～令和3年3月31日

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	事業回数	事業予定場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
東日本大震災の被災児童支援の継続	【子どもの見守り】 移動児童館活動 プレーパーク活動	87回	新立野地区 釜地区 向陽地区 田子西地区(仙台) 4カ所	8名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民： 子ども：のべ1,294名 大人：のべ463名 ボランティア：のべ32名
	【活動報告】 新型コロナウイルス感染状況から緊急事態宣言中は活動を縮小し、緊急事態宣言解除後の6月以降、にじいろ農園を中心とした屋外型の居場所作り活動を実施した。 活動の中では、体を動かす遊び以外にも、農園での野菜の栽培・収穫、火おこし、焼きいも作り、アートイベントの開催などを実施し、乳幼児親子から小学生や地域住民、復興住宅に住まう高齢者世帯の方々まで多くの方が立ち寄りやすい環境をつくることができた。冬期は、たき火活動を中心にプレーパークを開催していたが寒さや強風など天候の影響から参加者の来場が見込まれない日は、スタッフが釜小学校児童の下校時の見守りや、送迎の保護者との交流を行なった。 また、町内会の役員、地域住民との打ち合わせを対面や、電話等でやりとりし地域での子どもの様子や町内会の状況などについて情報収集や、相談を受けるなど現地活動以外でも関係性を築くことができた。				
子どもを見守るコミュニティ作り	【居場所作り・遊び場作り】 にじいろクレヨン活動 にじいろ農園プレーパーク	231回	新立野地区 にじいろひろば にじいろ農園 3ヶ所	6名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民： 子ども：のべ2,367名 大人：のべ905名 ボランティア：のべ12名
	【活動報告】 コロナ禍の状況で参加組数の制限や、食を通しての活動が行ないづらい状況ではあったが、イベントの企画準備段階からにじいろひろば利用親子と地域住民に出来る範囲で主体的な参加を促し、普段の生活の中では接点の少ない多世代間交流、コミュニティ作りへの意識が自然にうまれた。 また、無理のない範囲で地域の子どもの成長を見守り、支援される側としてだけでなく子育て中の親子を支援する側として関わっていた。特に今年度は室内活動にとどまらず、畑(農園)活動にも取り組み、復興住居住者と子育てに不安や悩みを抱える親子が野菜作りを一緒に行なえる仕組みをつくり、双方にとってこの地域に住まう安心感を持つことにつながった。				
子どもを見守るコミュニティ作り	【子育て支援拠点】 「にじいろひろば」活動	149回	1カ所	5名	概ね3歳未満の児童およびその保護者： 子ども：のべ1,173名 大人：のべ1,140名
	【活動報告】 参加組数の制限や、食を通しての活動が行ないづらい状況ではあったが、イベントの企画準備段階からひろば利用親子と地域住民に出来る範囲で主体的な参加を促し、普段の生活の中では接点の少ない多世代間交流、コミュニティ作りへの意識が自然にうまれた。				

	近隣の復興住宅居住者へは日常的にイベントの打ち合わせやチラシの配布、野菜のお裾分けなどの目的で足を運ぶ機会を増やしたことで、気軽に挨拶しあえる関係性を深めることができた。				
子どもの健全育成に関する講座・ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力	<b>【お絵描き教室】</b> お絵描き教室「ゴッコカン」 ・子ども教室（1ヶ所） ・大人教室（3ヶ所） ・出張保育園教室（3ヶ所）	94回	7カ所	4名	子ども会員及びその保護者・近隣住民・ボランティア会員： 子ども：880名 大人：150名 ボランティア：180名
	<b>【活動報告】</b> コロナ禍でも子どもたち自身が自分らしく過ごすことのできる場の維持に努めることができた。また大人教室でも安心して絵画のできる環境のもと実施することができた。				
子どもの健全育成に関する講座・ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力	<b>【講演会】</b>	10回	県内 7カ所 県外 3カ所	2名	子ども会員及びその保護者・近隣住民・ボランティア会員：のべ323名
	<b>【活動報告】</b> 今年度は現地へ訪問以外にもオンラインでの講演会の実施が多く、昨年度よりも多くの講演会に参加する機会があった。東日本大震災から10年の当団体の活動の状況などをお話し、活動に関心を持つ方を増やすことができた。				
子どもの健全育成に関する講座・ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力	<b>【研修会】</b>	12回	1カ所	4名	子ども会員及びその保護者・近隣住民・ボランティア会員：のべ108名
	<b>【活動報告】</b> 月に1度、スタッフが集まり活動方針や、コミュニケーションを深めるなど、安心して働くことのできる環境づくりを行なった。スタッフそれぞれの意見を出し合う場としたことで、活動での連携が円滑になるだけでなく、不安の解消、より良い地域活動への視点を増やす機会となった。				
子どもの健全育成に関する講座・ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力	<b>【協働・連携事業】</b> 政策提言活動 石の会	12回	1ヶ所	10名	主として0歳～18歳未満の児童およびその保護者・近隣住民：のべ200名
	<b>【活動報告】</b> 石巻子どもの権利条約10周年フォーラム実行委員会と連携して市長候補者へ、子どもの声、養育者の声を届けようプロジェクトに参加した。また、いしの会では月一回の定例会議に参加。遊び場作り居場所作りの情報交換、ネットワーク構築の継続。				

子どもの健全育成に関する講座・ワークショップ・ネットワーク作りの企画・実施・運営およびそれらへの参加・協力	ポジティブディシプリン講座	19回 (1講座 8回×2、 2時間版 1回)	2ヶ所	6名	主として0歳～18歳未満の児童の養育者・児童・近隣住民・ボランティア会員： 大人：のべ156名 子ども：のべ124名 ボランティア：のべ101名
	<b>【活動報告】</b> 日常生活や活動の場面で、子どもへの直接的支援だけでなく保護者からの子育てに関する質問を受けることも多く、養育者支援の重要性を感じられた。そこで今年度より「ポジティブ・ディシプリン講座を開催した。受講者からは、「子どもの視点で考えてあげられるようになってきた」「発達段階を知って、子育てが楽になった」「みんな、同じ悩みを持っていると知り、不安が減った」との感想があった。また、行政との共催、講座ファシリテーター育成、講座受講をきっかけに子育て親子の交流の場となった。				
その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	今年度実施なし	—	—	—	—

### (3) 地域社会や他団体との連携について

石巻市福祉部子育て支援課、石巻市社会福祉協議会、石巻市立釜小学校、石巻市蛇田小学校、石巻市青葉中学校、石巻市蛇田中学校、NPO 法人、こども∞感ばに一、NPO 法人ベビースマイル石巻、NPO 法人 TEDIC、NPO 法人こどもにやさしいまちづくり、石巻市こどもセンターらいつ、認定特定非営利活動法人冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク、認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる、石巻専修大学、武蔵野大学など